

～宇宙祭1日前号～

# Newspace

## 郡山東高校新聞 速報版92号

編集・発行  
郡山東高等学校新聞部  
発行人 松本 優衣  
編集人 古川 奈々  
〒963-8832 福島県  
郡山市山根町13-45  
電話 024-932-0898

# 宇宙祭 明日開幕

ついに明日から3年に一度の宇宙祭開幕する。2日間の準備以上の、完成に近づいてきた各発表に東生の気持がより一層高まっている。本日8時50分からは開祭式も行われる。

## 宇宙祭準備

### いよいよ大詰めへ

いよいよ明日、3年に一度の宇宙祭が開幕する。準備期間の最終日となる今日は午前には開祭セレモニーがあり、午後からは昨日に引き続き、準備を行う。校内は各所でほとんどの飾りつけや企画のための設営が終わり、宇宙祭に向けて東生の気持ちは高まってきている。新型コロナウイルスの影響で一般公開が中止となったため、2日間行われる宇宙祭は校内文化祭となる。1日目は校内公開、2日目は1日目と同様に校内公開、ステージ発表に加え、クラス旗などの表彰やパフォーマンスの授与も行われる。閉祭式後には自由参加の後夜祭があり、有志発表とファッションショーが行われる。有志発表とは5グループ、ファッションショーには開祭セレモニーで上位となったクラスが出演する。(梨奈)

→ステージ発表のリハーサル風景



↑全学年によって着々と準備が進められる折り鶴アート



↑書道部1, 2年生によって書かれた第8回宇宙祭のテーマ



↑宇宙祭の準備を進める2年生



↑パフォーマンスのリハーサルをする書道部員



↑クラス企画の準備をする3年生

### 東照手記

「みんなが協力して何かをやり遂げる」これは私が苦手とすることだ。大人数で活動すると、必ずと言ってよいほどいざという事態が起る。このことに対して私は面倒くさいと感じてしまう。そんな私の考え方が変わるきっかけとなったのは、中学校最後の文化祭だ。私の中学校では2、3年生は合唱を行うことになっており、指揮者や元合唱部の人を中心に練習を開始した。最初はパートごとに分かれての練習をした。各パートに元合唱部の人がいいたため、パート練習はスムーズに行うことができた。しかし、全体練習では真面目に取り組む人が少なく、男女間でもめてしまうことが多々あった。クラス内での文化祭に対する意識の違いが原因であった。私はというと、このとき練習に対するやる気をなくしていたが、文化祭まで残り1週間を切っていたため、焦りも同時に感じていた。そこで、全員で話し合う時間を作り、クラスで決めた目標の再確認をした。そのおかげでクラス全体の雰囲気は良くなり、私も「本番に向けて頑張ろう」と思えるようになった。▼本番を迎えた日、緊張はしていたが、今まで練習してきたことを信じ、自分たちの歌声を会場全体に響かせた。練習の成果を全て出し切り、無事に最後まで歌うことができた。「良い演奏だった」と担任の先生にも褒めてもらえた。私のクラスは優秀賞を獲得した。このとき私は、みんなで協力したからこそ獲得することになったと感じた。▼みんなが協力して何かをやり遂げることは今でも少し苦手だ。しかし、今、みんなが協力することは、明日から高校生活最初で最後の宇宙祭が始まる。協力して、良い思い出にしたい。(和奏)

